



# 中山中学校便り



令和7年12月23日(火) No.8 文責：校長

## 2学期つけた力を自信に ～2025年の自分を称えて～

2学期のスタートは、猛暑の続く真夏でした。夏・秋・冬と3つの季節をまたぐ長い2学期は、全校生で創りあげる行事がいくつもありました。また、自分自身を成長させていく場面や機会もたくさんありました。行事を通して育んだ力や思い、挑戦して達成できたこともあれば、うまくいかなくてそこから学びを得たこと・・・「結果」だけでなく「そこに向かって努力する過程」で成長した2学期だったと思います。また、12月のこの時期は、2学期を振り返るとともに、2025年、令和7年を振り返る時期でもあります。この1年の自分の頑張りの成果は自分が一番知っているはずです。臆することなく自分を称えたいうえで、次の新たなステップとなる1年のスタートを気持ちよく迎えられる準備をしましょう。

## 11/10 学校運営協議会

11月10日に行われた、第2回学校運営協議会では、第1回に続き、各学年からの代表9名の生徒も参加してグループワークを行いました。1年生を対象に事前アンケートを行い、中学生になって学習面や生活面での、よかったこと、不安・悩みを調査し、その結果を参考にしながら、学校生活や放課後の生活について運営協議会の委員と生徒たちが話し合いました。

〈生徒感想より〉会議を通して地域の方々の中山町に対する思いや考えを知ることができたし、自分たちが大人の方々に要望や考えを話せて良かったです。これからも継続してほしいと思いました。今後も、学校と地域の協働を目指し、生徒が自律的にやりたいことを実現できる学校運営に取り組んで参ります。



## 12/2 新入生オリエンテーション

令和8年度の入学を控える6年生のみなさんと保護者対象のオリエンテーションを、これまでオンラインで行ってきましたが、久しぶりに対面で実施しました。

6年生の皆さんには中学校の生活について、担当の先生や新生徒会執行部の2年生が話をし、希望をもって安心して入学してほしいという思いを伝えました。質疑応答の時間では、6年生からの積極的な質問が飛び交い、執行部の生徒が一生懸命回答するなど、対面ならではの場面が見られました。

保護者対象には、養護教諭の千葉先生が、事前のアンケート（中山中生対象、6年生対象）をもとに、中学生の生活や時間の過ごし方について講話を行いました。

後日、豊田小学校6年生のみなさんから、中学校生活への期待や決意が伝わる感想をいただきました。ありがとうございます。6年生の皆さんには、それぞれの小学校で、卒業までの3か月半を、最高学年として存分に楽しみ何事もやりきった思いで、新たな中学校生活に臨んでほしいと願います。



## 12/11 2年生親子行事「和菓子作り」

インフルエンザの影響で延期になっていた2年生の親子行事が行われました。和菓子職人の佐藤慎太郎さんを講師に迎え、親子で和菓子作りに挑戦しました。練りきりと餡を使って、繊細に丁寧に色や形を整え作り上げる工程に「うまくできるかな？」と不安ながらも、真剣な表情で、笑顔や笑い声も飛び交う楽しい時間になりました。作った和菓子を囲んで、家庭での温かな時間になったことでしょう。



## 12/4 12/18 2年生防災学習

2年生の防災学習が、12月4日に防災アドバイザーの細谷真紀子さん、12月18日には気象防災アドバイザーの兵頭哲二さんを講師に迎えて行われました。細谷さんからは、小学生の時から継続して防災について学んでおり、4年目の今年は「災害タイムライン」として、地区ごとに分かれたグループで、災害が起こったらどのような行動をするのか、シミュレーションを考えまとめる活動を行いました。兵頭さんからは、天気図や雲の発生の図なども用いて災害級の気象現象が起きる仕組みをわかりやすく教えていただきました。

また、キャスターとしての立場から、「伝える」側は「伝わる」ように情報を発信しなければならないこと、受け取り手も正しい情報を本当の伝え手から受け取る「リスクコミュニケーション」が大切だということもお話いただきました。



## 12/19 3年生へ地域からのエール～mitate donutsさんより贈呈

中山町を元気に、とさまざまな取り組みや起業を行っている齊藤真二さんから、3年生に高校受験の応援として、手作りドーナツをプレゼントしていただきました。19日の放課後に行われた贈呈式では、齊藤さんの町に対する思いや、受験がうまくいくように〇の思いを込めたことなどお話いただきました。

笑顔でドーナツを受け取った3年生のみなさんも、地域からも応援していただいていることを励みに、改めて「がんばろう！」の気持ちを高めたようでした。



### <作文の表彰> ☆おめでとうございます☆

- 第50回「小さな親切」全国作文コンクール 優秀賞 2学年生徒
- 全国納税貯蓄組合連合会・国税庁「中学生 税の作文」 優秀 3学年生徒
- 第44回全国中学生人権作文コンテスト山形県大会

山形県教育委員会教育長賞 3学年生徒

# 全国学力・学習状況調査 本校のまとめ

今年度行われた全国学力・学習状況調査の結果について、すでに3年生には個別の結果をお伝えしておりますが、学校全体についてお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査は、「①義務教育の機会均等とその水準の維持向上」「②児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に活用」「③教育に関する継続的な検証改善サイクルの確立」を目的に中学校では3年生を対象に、全国一斉に行われています。今年度の学力調査は、国語、数学、理科の3教科で実施され、知識・技能や、それを実生活の様々な場面に活用する力、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等を問う問題が出題されました。学習状況調査については、生活習慣や学習への意欲における、本校生徒の良いところや向上のために改善していきたいところについてまとめました。

学校、家庭が共通理解のもと、これらの分析結果を生かし、授業や生活習慣の改善に取り組んでいきたいと考えております。

## 1 学力調査の結果について

本校の国語の平均正答率は、全国(54.3ポイント)と比べやや上回る結果でした。数学の平均正答率についても、全国(48.3ポイント)と比べやや上回っており、理科の平均正答率についても、同様に全国比を3~5ポイント上回る結果となりました。

各教科の設問における分析を行い、さらなる知識・技能の定着と活用力の向上が図れるよう全教科体制で指導改善に継続して努めてまいります。

### 【国語】(全国平均と比較して ○特に上回っていたところ ●特に下回っていたところ)

- 自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫する。
- 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えをまとめる。
- 読み手の立場に立ち、表記を確かめながら文章を整える。
- 文脈に即して漢字を正しく使う。
- 内容のまとまりを意識して、文章の構成や展開を考える。
- 事象や行為を表す語彙について理解している。

### ＜結果を受けての今後の取り組み＞

- ◇考えを正確に伝えたり、受けとったりするために、語彙を豊かにする。
  - ⇒文章を読むときに出てきた語句の意味、本文の文脈での用法を確認する。語彙ノートを活用し、類義語、対義語なども必要に応じてメモをすることで、自分が言いたいことを一番伝えられる語句を選んだり、相手はその語句を選んだ意図を考えたりする。

### 【数学】(全国平均と比較して ○特に上回っていたところ ●特に下回っていたところ)

- 数量を文字を用いた式で表す。
- 多角形の外角の意味を理解している。
- 事柄が常に成り立つとは限らないことを説明する場面において、反例をあげる。
- グラフから必要な情報を読み取る。
- 素数の意味を理解している。
- 相対度数の意味を理解している。
- 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する。

### ＜結果を受けての今後の取り組み＞

- ◇用語や公式などの概念の理解を深める。
  - ⇒用語や公式の暗記にならないように意味を丁寧に確認し、複数の概念を関連付けながら統合的に捉えられるようにする。また、説明する場面では、用語を含む数学的な表現を用いるようにする。
- ◇基本的な知識及び技能を伸ばす取り組みを続ける。

⇒授業開始前に3分前学習として、計算ドリルを用いて、基本問題に取り組む。

**【理科】（全国平均と比較して ○特に上回っていたところ ●特に下回っていたところ）**

- 身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定する。
- 探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現する。
- 化学変化の分解について、概念として身に付いている。
- 地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈する。
- 塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表す。
- 共通性と多様性の見方を働かせながら比較し、多面的、総合的に分析して解釈する。

**<結果を受けての今後の取り組み>**

◇分野（物理、化学、生物、地学）の枠組みを超えて、事象を多角的に理解、分析する力を伸ばす。

⇒他分野の既習事項と関連させて考察し、気づきを大切にする。また、身に付けた知識、技能を活用して課題に取り組み、分析、考察、説明を相互評価することで、自己の到達度を把握し、学習を調整していく。

**2 学習状況（生活習慣や学習への意欲）調査の結果について**

**（県の平均と比較して ○特に上回っていたこと（課題） ●特に下回っていたところ）**

- 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい。
- 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。
- 1、2年生までに受けた授業で、ICT 機器をほぼ毎日活用している。
- ICT 機器で文章の作成や情報を収集し整理することができている。
- ICT 機器を活用して、プレゼンテーションを作成することができている。
- 学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たり1時間以上勉強をしている。
- 学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強している。
- 学校の授業時間以外に、普段（平日）、1日当たり30分以上読書をしている。
- 自宅に25冊以上の本がある。
- 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。

**3 まとめ**

**取り組み1：課題の明確化**

単元で身に付けてほしい力や目標を生徒と共有し、互いに見通しの持てる学習活動を行う。

**取り組み2：アウトプットによる学びの定着**

理解したことや考えを伝え合い、相互評価することで個々の学びをより深いものとする。また、教科の見方、考え方や用語を用いて、根拠を明確にして説明できるようにする。

**取り組み3：自己調整力の育成**

振り返りや自己評価活動を充実し、一人一人が学びの状況と向き合い、自己の学びを調整できる力を伸ばす。

以上のことを、全教科において取り組んでいるところです。

ご家庭でも、ご指導よろしくお願ひいたします。